

第 25 期日本学術会議健康・生活科学委員会看護学分科会 第 4 回会議録（概要版）

開催日時：2021 年 4 月 12 日 15:00～17:00

場所：ビデオ会議

参加者：小松、多久和、西村、菱沼、真田、森山、浅野、神原、山本、太田、三重野、坂下、井上、綿貫、吉沢、田高、萱間

欠席：片田、南、寶金、新福

事務局：畔上

（順不同、敬称略）

資料

0. 第 25 期看護学分科会 第 4 回会議次第

1. 日本学術会議シンポジウム（案）

健康と暮らしを守り育む；デジタルトランスレーションと看護（仮題）

2. 看護学分科会、地元創成看護班 全体会議 1 回目（要約）

3. 看護学分科会、地元創成看護班 全体会議 1 回目

4. 日本学術会議のより良い役割発揮に向けて（素案）

5. 特任連携会員任命に関する報道について

【議題】

1. イノベーションのシンポジウムについて

小松委員長より、第 1 回看護学分科会において、方針を検討しイノベーションに関連した検討を行うグループと地元創成看護を中心とした 2 つのグループに分かれ活動を開始し、2 月に入ってそれぞれの部会を立ち上げた。

萱間委員よりテクノロジーに関するイノベーションのシンポジウムに関して資料 1 をもとに説明があり、登壇者である委員より内容の説明および他の登壇者に関する検討がなされた。資料 1 に加えて、登壇者を 1 名追加し、依頼することとなった。市民への必要性の理解を促す目的でテーマを「With/After コロナ時代の看護の役割：デジタルトランスフォーメーションと看護」としてより焦点化し、ケアサイエンスとの共同主催、JANA・JANPU の後援なども進めていく案が上がった。

続くシンポジウムにおいて、学協会、厚労省の看護科、文科省の医学教育課、看護協会等々に講演を依頼することも提案された。看護全体で考えるべき問題を科学的助言として出していく方針となった。

2. 地元創成看護の検討・提案事項

地元創成看護班議事録（資料 2、3）をもとに、西村副委員長より報告があった。新型コロナウイルス感染症や災害に対する看護系大学の取り組みの集積を目的としたプラ

ットフォーム作成に関して、JANA への依頼を含めて第 24 期提言の周知方法について検討された。地元創成看護に関する理解を得ることを同時に行い、「With/After コロナ時代の地元創成看護」をテーマ案としてシンポジウムを開催してはどうかと提案があった。また JANPU や JANS と協力しシンポジウムの共催を依頼するなど連携しながら発信していくことが、地元創成看護を浸透させるためにも必要であるのではないかと提案された。地元創成看護の特徴を表す文に関して、まず看護領域にて理解できる端的な文を目指すことについて議論が交わされ、地元の定義も含めて今後班で検討していくこととなった。

3. 日本学術会議総会に向けた検討

日本学術会議総会に向け素案(資料 4)について意見の収集が行われた。幹事会での意見交換について報告があり、引き続き意見収集が行われることとなった。

以上